

# 転作制度廃止されるが その対策は

**質問** 平成30年から米の生産調整がなくなり生産者の判断で米が自由に作れるようになる。

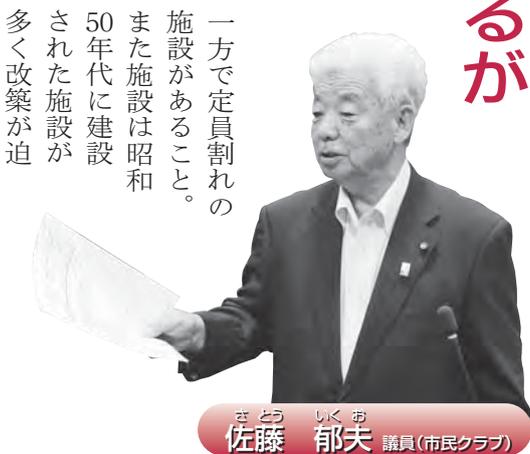
県は平成30年からの5カ年間の米政策方針を決定した。内容は主食用米作付を増やしていくとしているが、市としての対応策とその内容は、これを逆にチャンスととらえ主食用米生産に取り組んでは。

**市長** 県では米を作りただけ作る状態になると、総じて米価の下落につながるから生産目安を12月に示すこととしている。それによると奥州市では本年度より約400ヘクタール作付を増やすことができると見込んでいる。岩手ふるさと、岩手江刺農協では「県南ひとめぼれ」は、13年連続特Aの評価を受けており、卸の引き合いも強いことから主食用米作付を増やす方向で検討している。今後両農協始め、生産者団体等と充分協議し、対応していきたい。

## 幼稚園・保育所の再編計画は

**質問** 幼稚園・保育所の再編計画が策定され住民説明に入っているが、その内容は。

**市長** 再編計画は待機児童が発生する



さとう いくお 議員(市民クラブ)

一方で定員割れの施設があること。また施設は昭和50年代に建設された施設が多く改築が迫

られていること。この2つの課題解決のため平成32年から5カ年の再編計画を策定し、住民説明に入っている。計画は施設の廃止

統廃合を伴うことから、地域から施設がなくなることへの不安も寄せられた。押しつけではない

く、施設が地域において果たしてきた役割、子供と地域の関わり等十分考慮し、保護者、住民に説明し、再編計画を進めていきたい。



作付可能となる転作田 (江刺区玉里地内)

# 子育て世代包括支援センターの進捗状況は

**質問** 3月議会でこの件の取り組みについて質問したが現在の進捗状況について伺う。

**市長** 国において妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を提供する支援体制を構築することを目的に市では平成32年までに設置するよう努めなければならないとされている。

2月に盛岡市の所長を講師に招き研修会を実施した。

子育て支援業務の整理や人材確保を含めた組織体制の在り方などの検討と密接に関連することから、課長等で構成する検討会議の設置を考えている。

**質問** 子育て関連業務が分散されている。内容を考えるとかなり綿密な計画が必要と考えるがどう進めていくのか。

**市長** 検討部会を立ち上げて協議していきたい。

**質問** ワーキンググループの形は、組織の再編も考えているのか。

**市長** 実務者レベル「保健師、子ども、家庭課課長補佐、助産師」などを考えている。統



ブックスタート風景 (4ヶ月の乳児検診時)

廃合を考えていく。

**質問** スケジュールは。

**市長** 平成30年度には結論、課題を出していきたい。

**質問** 有資格者、新たな専門員などが必要なのか。

**市長** ある程度必要。国からの通知では保健師、助産師、子ども子育て支援員(運営のコーディネイトをする人)など。平成32年度の開始に向けて進めていきたい。



すがわら けいこ 議員(新世会)